

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)根本交流センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)根本交流センターの使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業及び児童センター事業の実施に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(87%)=利用率(33.3%)÷38.4%(上記①適用)	95%未満～85%:3点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 小ホール:55.8%(平均値比88.0%=55.8%÷63.4%) 会議室1:31.7%(平均値比95.2%=31.7%÷33.3%) 会議室2:39.6%(平均値比86.8%=39.6%÷45.6%) 和室:23.7%(平均値比85.9%=23.7%÷27.6%) 実習室:15.8%(平均値比71.5%=15.8%÷22.1%) ※児童センター該当なし	4点		
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 【公民館】平均値比(59%)=利用人数(延べ29,685人)÷50,334人(上記①適用) 【児童センター】平均値比(47%)=利用人数(延べ12,130人)÷25,732人(上記①適用)	公民館 85%未満:2～0点 児童センター 85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 【公民館】 大ホール室:8,526人(平均値比51.0%=8,526人÷16,794人) 小ホール室:11,579人(平均値比70.0%=11,579人÷16,542人) 会議室1:3,934人(平均値比64.0%=3,934人÷6,191人) 会議室2:2,837人(平均値比52.0%=2,837人÷5,475人) 和室室:1,669人(平均値比63.0%=1,669人÷2,668人) 実習室:1,140人(平均値比43.0%=1,140人÷2,664人) 【児童センター】12,130人(平均値比47.1%=12,130人÷25,732人) (R2=10,792人、R1=28,284人、H30=28,089人、H29=30,328人、H28=31,167人:5年平均25,732人) 公民館:4点 児童センター:4点 総合点:4点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	4点		
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点 【児童センター】※公民館事業含む ①乳幼児と保護者を対象とした事業(27回782人) ②児童を対象とした事業(46回773人) ③地域交流・多世代間交流事業(10回1,649人) ④中高生事業(0回0人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(30回259人)	仕様書以上13点	【公民館】 ①複合施設の特性を活かし、幅広い世代が事業の参加者やスタッフとして活躍の場を設けている。 ②公民館まつりではコロナ禍にも関わらず実行委員会を立ち上げ、地域との話し合いを重ねながら感染予防対策に取組み、多くの発表の場を提供できた。 ③地域醸成事業は、子どもと自然をつなぐ仲間づくりの育成を担うという目的を常に意識し、子どもが地元への愛着心を育んでもらうための事業が展開できている。 【児童センター】 ①コロナ禍においても、乳幼児事業を除き仕様様に定められた回数以上に実施できており、多様で新たなニーズに応じた内容の充実に努めている。 ②臨時休館や事業中止等の措置が取られる中、新たな子ども達の居場所を模索した。家庭環境に特別の事情がある子どもについては、休館中であっても受け入れを行った。 ③乳幼児クラブ(たまご・ひよこ・パンピ)の参加申込みが多くあり、感染予防対策を講じた内容に大幅に変更し、参加者を増やしての開催をした。 公民館:13点 児童センター:13点 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	13点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点 【児童センター】※公民館事業含む ①乳幼児と保護者を対象とした事業(43回851人) ②児童を対象とした事業(10回59人) ③地域交流・多世代間交流(32回3,746人) ④中高生事業(15回44人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(1回20人)	期待以上13点	【公民館】 ①複合施設の特性を活かし、防災への心構えを子どもに伝えていく取組みが多世代交流事業として実施されている。 ②コロナ禍で特に高齢者が外出を控える傾向を案じ、高齢者層に特化したコンサートや講談を開催。交流センターへ足を運ぶ楽しみを味わってもらうことができた。減少した来館者が戻ってくるきっかけづくりとして今後の取組みにも期待。 ③交流センターへの足が遠ざかった高齢者向けとして、地域の集会場にも目を向け事業を実施した取組みを評価。 【児童センター】 ①交流センター(複合施設)と根本地域の特色を活かした展開で、各項目とも子どもや保護者同士、地域・多世代の交流促進を図っている。 ②臨時休館や事業中止等の措置が取られる中、新たな子ども達の居場所を模索した。 ③小学生ボランティア「ブレイリーダー」の育成を行い、児童館活動に主体性を発揮できる環境づくりを整え、仲間づくりのサポーター役を担うブレイリーダーとして活躍している。 ④地域意識醸成事業として「ミツ星ファミリー事業」3世代で楽しめる運動、遊びのプログラムを実施した。根本交流センターで学んだことが町内会や子ども会などの地域へ広がりを見せた。 ④コロナ禍においても事業内容を工夫し、充実した事業を提供することができた。 公民館:13点 児童センター:13点 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童センター1]	13点				
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点	年次報告書P451 ①施設内清掃(毎日) ②特別清掃(年1回)	適正(普通)2点	適正に実施されている。	10点			
		②保守・点検		②5項目の合計点とする。	年次報告書P451 ①事業計画にある法定点検ほか必要な保守点検を実施 ②汚水・雨水タンクの点検を実施、調理実習室のグリストラップ清掃を実施	適正(普通)2点	適正に実施されている。				
		③保安・警備			年次報告書P452 ①開館時間の巡回警備、機械警備業務(休館日を含む)を実施 ②年間を通して安全な状態を維持。監視カメラの設置により警備体制を強化	適正(普通)2点	適正に実施されている。				

2	施設管理状況 (25点)		④小規模修繕	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P452 ①有償修理 全11件 総額 279,585円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P453 ①野外デッキ補強 ②遊戯室の棚修理 ③木登り禁止看板設置 ④外壁ダミーカーメラ修理 ⑤蜂の巣退治 ⑥不審車両の警察への通報(事件性なし) ⑦一輪車点検 ⑧駐車場通路の段差にLED灯設置 ⑨防災土嚢置場に侵入禁止看板設置 ⑩屋外倉庫の隙間に侵入禁止看板設置 ⑪和室立鏡修理 ⑫サロン階段の手摺錆止め ⑬ホール空調機パイプ修繕 ⑭和室押入の修繕 ⑮玄関庇の修繕	適正(普通) 2点	児童の行動も予測しながら、危険箇所への手当を実施。適正に実施されている。		
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)		①文書管理	0	①広報媒体への写真掲載は、講座申込時に承諾を得たものののみ使用 ②個人情報を含む書類等はキャビネット内で厳重に保管。処分はシュレッダーまたは三の倉センターへ持込み処理 ③児童センター登録カードは特に注意を払い取り扱った	年次報告書P454 ①市ファイリングシステムに準じて、文書に応じた適正な保存、保管	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			②環境への配慮			年次報告書P454 ①歩きタバコ禁止看板を設置 ②敷地内緑化 ③固定式非接触検温付オートディスペンサー設置 ④利用者へのエアコンの適正温度の呼びかけ ⑤備品及び衛生管理半年点検、まな板、湯呑み等の清掃・消毒 ⑥リサイクル意識の向上として工作遊びに廃材を利用	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P454 ①多世代が集える施設として、来館者に対して公平性を意識し、共通ルールのもとで適切な対応を行った。 ②「きめ細やかな配慮が行き届いた施設」運営を心掛けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P454 ①利用者が使いやすいよう定位置を決めて保管 ②経年劣化した備品について、安全で使い易いものに更新 ③遊具・おもちゃは安全に使用できるよう毎日点検 ④利用者のニーズに応える備品の交換、選定 ⑤業者による一輪車点検(16台)と不具合について修繕	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P454 ①広報媒体への写真掲載は、講座申込時に承諾を得たものののみ使用 ②個人情報を含む書類等はキャビネット内で厳重に保管。処分はシュレッダーまたは三の倉センターへ持込み処理 ③児童センター登録カードは特に注意を払い取り扱った	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応			年次報告書P456 ①70代女性が駐車場止めで転倒。顔面を怪我し通院、大事に至らず。 ②幼児が雨で濡れていた床で足を滑らせて転倒。後頭部を打ち通院、異常なし。 ③一輪車から降りる際、左手を床につき痛める。通院の結果、手首の打撲と腫れ。 ④小1児童がぶつかり倒れた網戸で、小6児童が指を痛めた。湿布で完治。 ⑤小2児童が遊戯室で卓球中、床に垂れていた防球ネットに足が乗り、滑って転倒。前歯を負傷、通院治療。防球ネットは床からたくし上げた状態で管理することとした。 ※①②③⑤は施設加入の保険を適用	事故なし・対応に不備なし 0点	①報告の5件は、事前に予測できたかも知れない事案もあり、すべてが不可抗力とはい切り切れない。 ②被害を受けた部位も5件中3件が顔や頭であり、重傷がなく幸いしている。 ③事後の対応は適切であったため、負傷者側とのトラブルはない。		
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入30,512,316円÷支出31,519,224円＝97%	100%未満 3点	【参考】令和元年度101%、2年度94%	3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P457 ①コロナ禍における新しい防災、災害への備え 施設と地域団体が共同で、感染症対策に特化した避難所開設マニュアルを作成。 ②安全対策 (1)事故の未然防止:遊戯室のピアノに安全カバーを設置 (2)セキュリティの強化:遊戯室ドアに防犯コントローラー設備の追加設置と緊急非常通報サービスの追加による不審者対応の迅速化 (3)SNSを活用した、講座受講者への速やかな情報発信	期待以上 9点	①地域の課題、特に防災や防犯について、地域自らが取り組む意識が高いため、施設がそのニーズを地域と一緒に解決することができ、良い関係が築かれている。 ②施設のセキュリティが機能面で充実したため、さらに職員の意識を高めて非常時に備えられたい。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点 適正(普通):4点 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	年次報告諸P458 町内会の広報紙配達整理番号に誤りがあり、該当町内の広報委員より苦情あり。以降、職員複数人による確認を徹底している。	適正(普通) 4点	苦情について適切に対処し、その後の対応に反映させることができた。	4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P459 ①根本フォーラム実行委員会事業 (1)ねもとめぐり(ふるさと点検)は、地域の歴史と自然を散策(2回47人) (2)地域の集会所へ向向き、出張紙芝居を上演(1回18人) (3)風作り(1回18人) ②高齢化に対応する「防災」を視点とした活動 (1)地元の食材で防災食づくり (2)シェイクアウト訓練 (3)避難所開設手順書の作成 (4)防災ヘルメットの設置 (5)自主避難者向け布団の設置	期待以上 14点	①コロナ禍でも、多世代が集う複合施設としての機能を止めないための取組みを、地域とともに行うことができた。 ②地域を学ぶための取組みは益々発展が期待でき、出張交流センターについても他の集会所にも弾みがつくことを期待する。 ③児童館活動では感染状況に応じてプログラムの見直しを行い、ひとりでも遊べる場、体力が衰えていることを考慮した運動遊びに力を入れている。「遊び」「居場所」を守る児童館を目指した。 ④臨時休館や事業中止等の措置が取られる中、新たな子ども達の居場所を模索した。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計					100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計84点
							全体的な評価 ①日ごろの地域のまちづくり団体等との交流から信頼関係が築かれており、地域の協力のもとで事業が円滑に行われている。 ②児童センターの来館者も増え始めており、コロナ禍での創意工夫が功を奏している。交流センターとしての魅力を益々発揮されたい。 ③結果的に事故の件数が目立った。対応に不備はなかったため、引き続き未然防止や万一の際の適切な対応を願う。			良好